

令和5年度第2回岡崎市放課後児童クラブ支援員研修会レポート

【日時】 2023年10月11日(水)9時30分～10時30分

【会場】 岡崎市役所福祉会館6階大ホール

【内容】 防災減災講座

【講師】 岡崎市防災課

【クラブ】(あそびばクラブ)

【名前】(島田歩実)

本日の研修で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください(自由記述)。

今回の研修でのお話をお聞きして、「避難をする、保護者さんと呼ぶ前に、本当に安全であるかを考えなければならない」というお言葉が特に心に残っています。同時に、先月の雷と雨が激しかった日のことを思い出しました。結果的に、雷雨のない学校の中で子どもたちは待機をすることができていたので子どもたちの安全は守られていました。あそびばに帰ってくる時も、雷雨は落ち着き安全に帰ってくることができました。しかし私は、「早くお迎えに行かなければ」という思いが先走ってしまい、雷雨の中お迎えに向かってしまいました。私の判断が最善ではなかったなと振り返り改めて反省しました。そして、いつもとは違う緊急時に、「どうすることが安全なのかを冷静に考え判断すること」「安全を確保できるまで待つということ」が難しいなと感じました。どうにかしないと！という焦りから、とにかく動かないと！と自分は思ってしまいやすいなとも痛感しました。少しでも焦らないようにするために、研修の中でも何度も仰っていた「予め計画をしておく、備えておく」ことが緊急時の自分を少しでも助けてくれるのだなと感じました。

具体的に今できることは、「正確な情報を入手できる準備をしておくこと」「どんな危険、どれくらいの危険が予想されるのかを知っておくこと」「(臨機応変ではありますが)こういう場合の時に、こういう行動をする。とみんなで話し合っ確認し合うこと」かなと思います。

今回の雷雨の際、学校さんに相談したくても連絡がつかない状態になってしまいました。誰かと連絡がとれない、今どういう状態なのか情報を得ることができないってすごく不安になるなと思いました。

連絡がとれない、さらにいろいろな情報が混乱状態で飛び交う中でも、今の状況を冷静に判断するためには、今回教えて頂いたホームページや情報システムを予め入手しておくことが大切だと感じました。

また、あそびばはもし大雨が降ったら…？大地震が起きたら…？どれくらいの危険があるのかを事前に知っておかなければならないと思いました。危険をできるだけ早く察知して行動できるかで、防ぐことができることもあるのだと感じました。

最後に、あそびばの子どもたちと指導員さんを守るための最終判断をするのは私と平岩先生です。でもどれだけ備えていたとしても、適切だと思ったとしても、自分ひとりの判断だと適切ではない判断になってしまっているかもしれない。そんな時に、あそびば全体、指導員同士で決断を確認し合えたらすごくありがたいなと思いますし、日頃から「こういう時はこういう行動をする、ここに避難する」というように指導員同士で確認し話し合いをしていかなければと思いました。

この研修を受講した今のタイミングを逃さずに、「備える」ということを始めていこうと感じました。

※提出されたレポートは、当会のホームページや広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※〆切は、研修終了後、2週間以内です。常勤・専任指導員に手渡し、または、okazakigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。